

つくること・みせること 2008年3月22日(土)～23日(日)

気持ちかんじる 版画の世界 —チルドレンキュレーターズ展—

平成17年度に活動をスタートしたチルドレンキュレーターズ(こども学芸員=現在12名で活動)は、活動3年目である平成19年度の集大成として「つくること・みせること 気持ちかんじる版画の世界」を開催します。平成19年度年は、こども学芸員としての1つの視点を置うため、実際に『ものをつくる』側の立場になってみることにしました。東北芸術工科大学こども芸術教育研究センターの協力により、現在版画作品を制作している大学院生に制作の指導を仰ぎ、『ものをつくる』ためには作家のどのような思いや考えがあり、またどのような順番でどんな材料を使い、どんな技法で行うのかなどを半年に渡って実践してきました。それによって生まれた作品を今度は学芸員の仕事として展覧会を構成しました。作品を展示するためには、現在目の前にある作品から得られる情報と、作家の意図したもの、制作工程などをきめ細やかに調査していくことが必要ですが、今回は自らがその立場を体験しているので、それを展示に活かすための手法を考えていきました。この展覧会によって『ものをつくること』と『ものをみせること』(みせることは展覧会をつくるということにもなるのですが・・・)の両方がみなさんに伝わらうれしいです。



*この展覧会は博物館と学校の連携事業の一環として開催しています。

2008年3月25日(火)～30日(日)

公開制作artist展 1—林こずえ—

東北芸術工科大学大学院修士課程
こども芸術教育特別研究領域1年



当館では公開制作として毎年地元で活躍する芸術家の方に博物館で制作活動を行っていただき、その様子を公開しています。今年度も昨年10月に東北芸術工科大学大学院生の林こずえさんを迎えて開催し、多くの方々に版画制作の工程を体感していただきました。本展では、林さんのやさらかな色彩の世界を一挙に紹介します。

アクセス

- ・JR米沢駅から52km
- ・上杉神社隣接
- ・市内循環バス「上杉神社線」下車
- ・山形県立IC、展覧館敷地よりR13で30分



伝国の社 米沢市上杉博物館

山形県米沢市丸の内1-2-1
TEL:0236-26-8001 FAX:0236-26-2090
URL: <http://www.dnskoku-no-mori.yamagata.jp>

次回展覧会

特別展 上杉伯耆家の明治
2008年4月19日(土)～6月1日(日)
休館日:4/23, 5/28

江戸幕府治世の終結により、東北藩も戦国時代が幕府の時代へと突入していきます。米沢藩と上杉家の藩政の明治時代を日本史の中で確認し、紹介します。